

2024年版

【導入進むWMS、現場側の活用実態を調査】

88.3%が「WMS活用により業務の効率化・  
改善が進んだ」と回答  
経営層より32.3ポイント高い結果に

～現場担当者の約9割が、今後のWMS活用に意欲的～

---

WMSの活用に関する現場側/経営者側の比較調査  
株式会社ダイアログ

## 調査概要

### 調査実施者

株式会社ダイアログ

### 調査概要

WMSの活用に関する現場側/経営者側の比較調査

### 調査方法

IDEATECHが提供するリサーチPR「リサピー®」の企画による  
インターネット調査

### 調査期間

2024年3月11日～同年3月22日

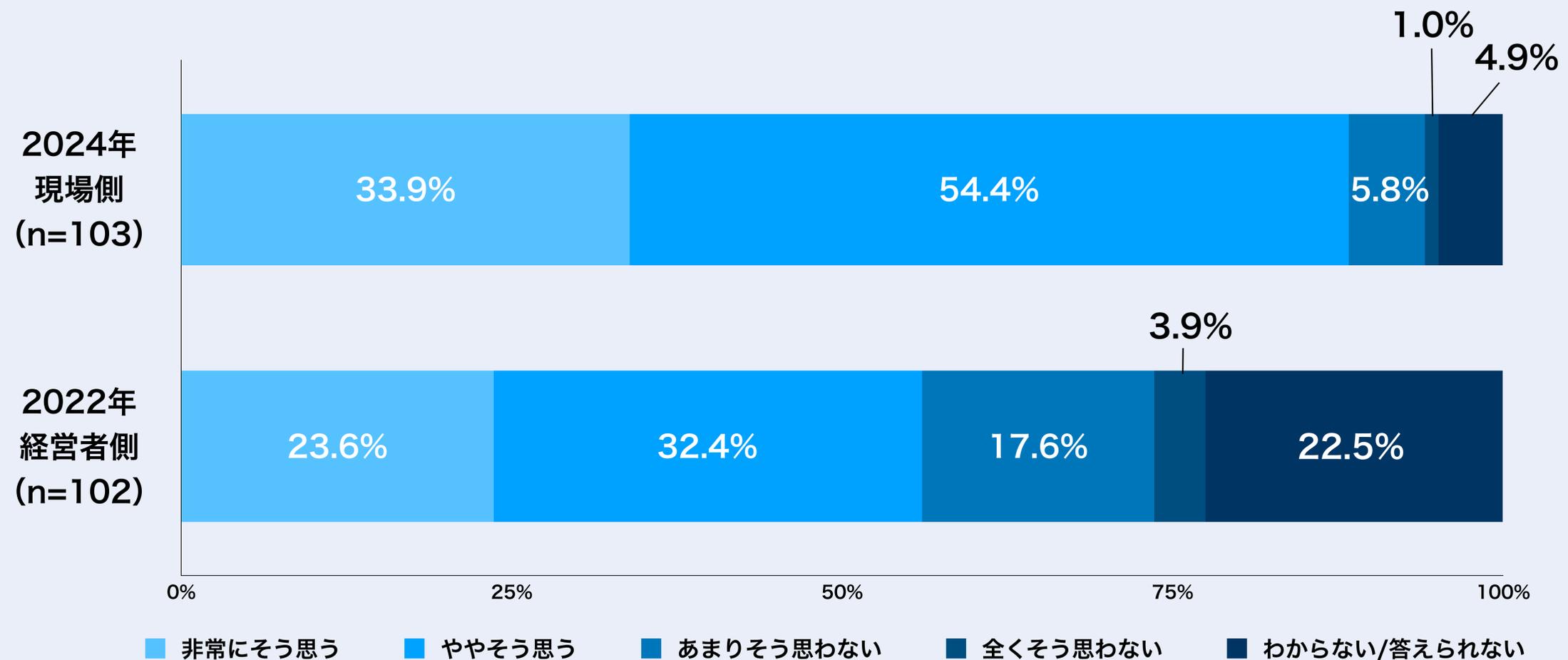
### 有効回答

WMSを導入しており、倉庫管理業務に携わっている現場担当者103名

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはなりません。

## Q1

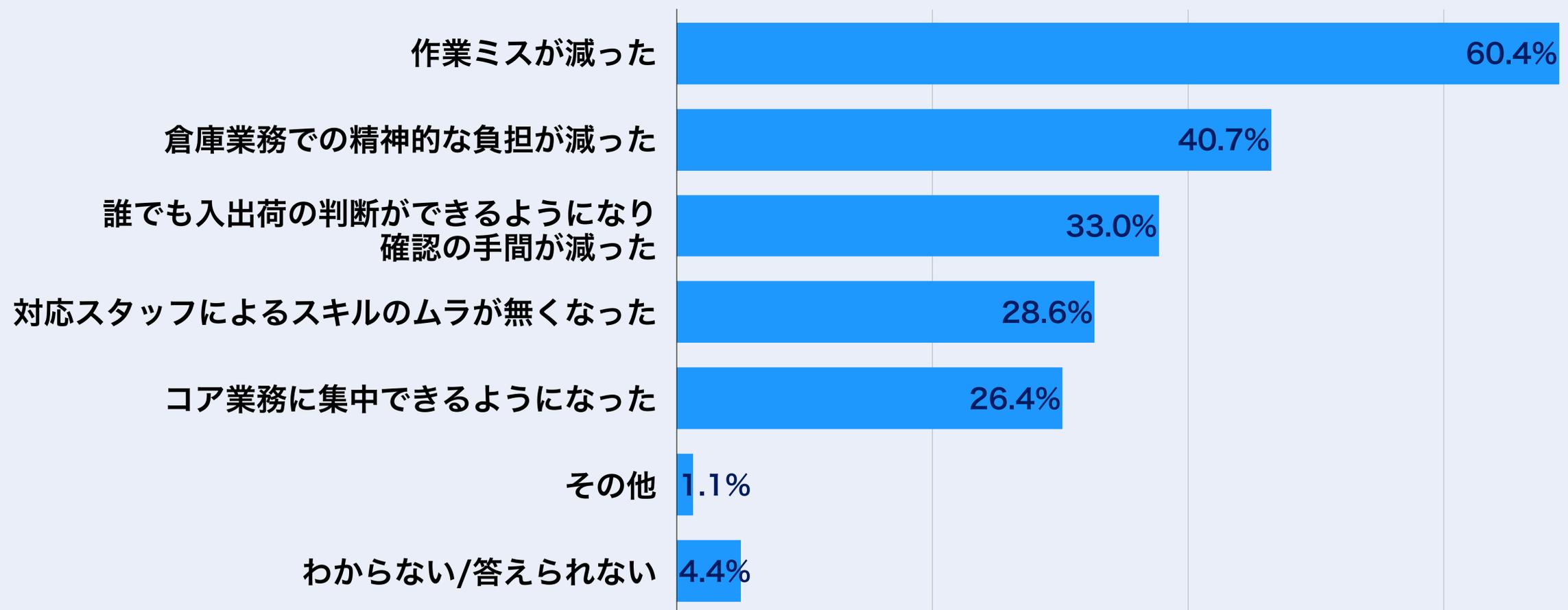
WMS（倉庫管理システム）の活用により、業務の効率化・改善が進んだと思いますか。



現場側の88.3%が、WMS活用により「業務の効率化・改善が進んだ」と回答し、経営者側より32.3ポイント高い結果になりました。

## Q2

現場担当者のうち、Q1で「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答した方にお聞きします。  
WMS（倉庫管理システム）の活用によって改善された点を教えてください。（複数回答）



n=91、調査期間：2024年3月11日～同年3月22日  
WMSの活用に関する現場側/経営者側の比較調査

WMS活用により改善された点に関して、  
60.4%が「作業ミスが減った」と回答しています。

## Q3

現場担当者のうち、Q2で「わからない/答えられない」以外を回答した方にお聞きします。Q2で回答した以外にWMS（倉庫管理システム）の活用によって改善された点があれば教えてください。（自由回答）

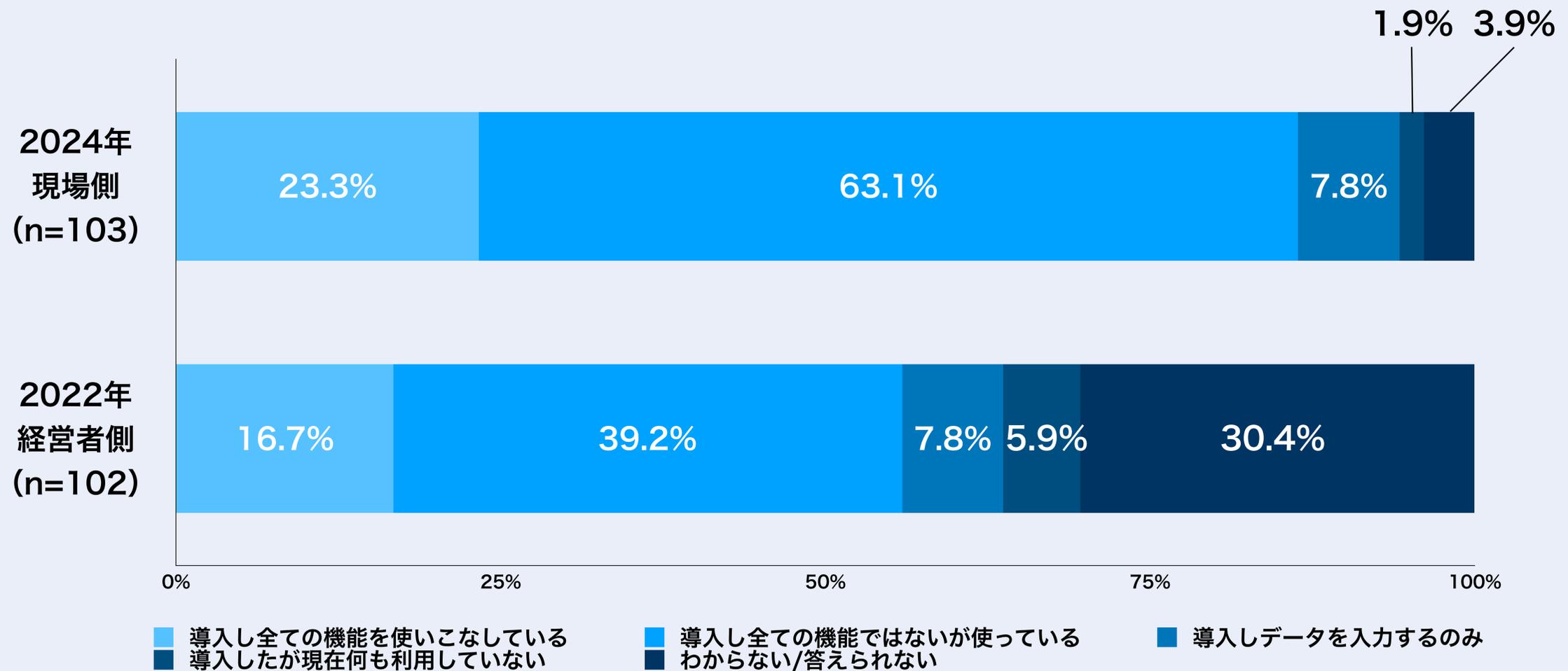
### ＜自由回答・一部抜粋＞

- ・ 38歳：貨物の動体管理が分かりやすくなった。
- ・ 49歳：受け入れ元システムとの連携。
- ・ 59歳：作業効率が上がった。トレーサビリティが上がった。
- ・ 30歳：誰でも管理できることによって、業務の標準化が進んだ。  
特定の人がいなくても業務ができるようになった。
- ・ 36歳：在庫が管理しやすくなった。
- ・ 53歳：作業時間が短縮できた。
- ・ 34歳：顧客の問い合わせにすぐ答えられる。

「在庫が管理しやすくなった」や「作業時間が短縮できた」などの声もあがりました。

## Q4

あなたのお勤め先において、  
WMS（倉庫管理システム）の定着度合いを教えてください。

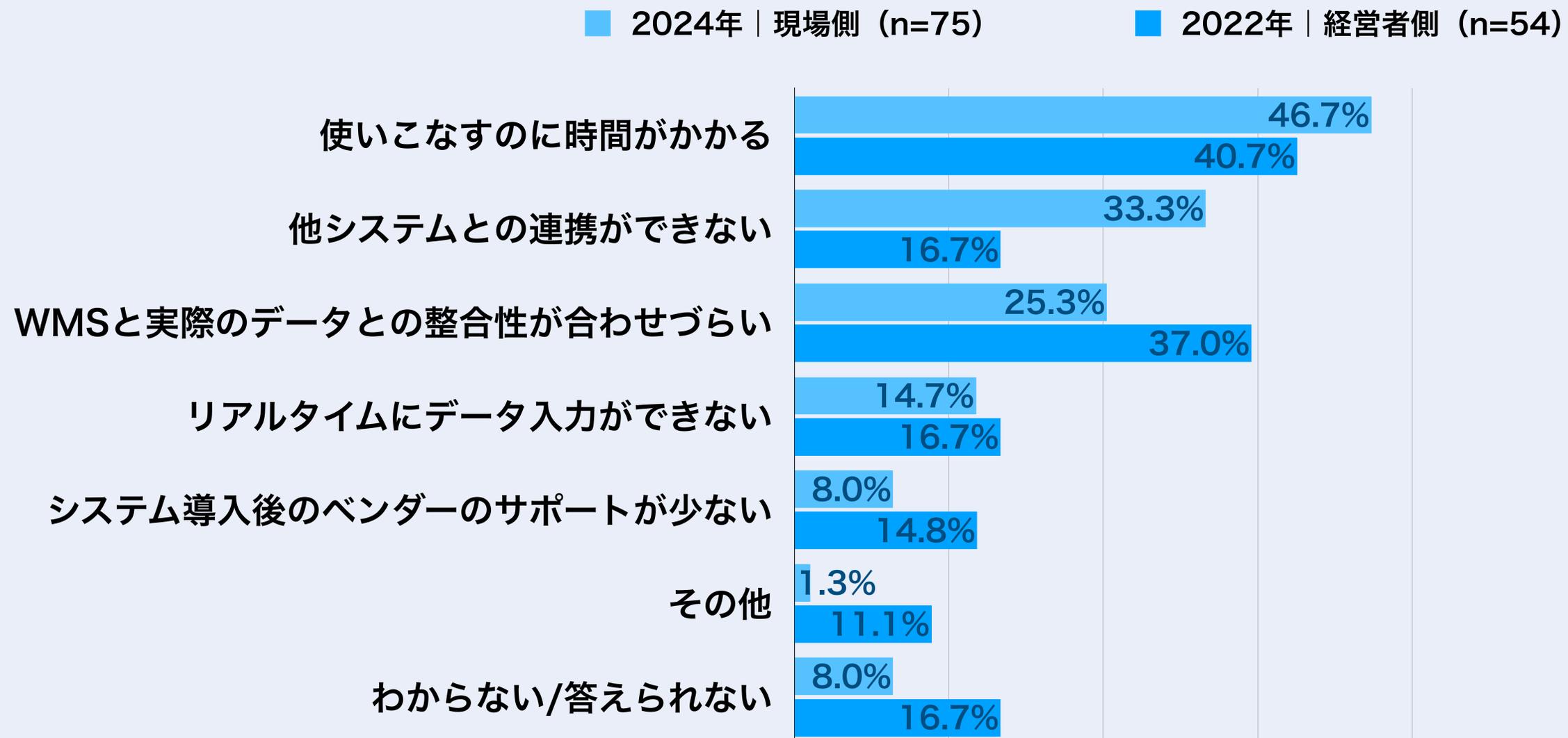


調査期間：2024年3月11日～同年3月22日  
WMSの活用に関する現場側/経営者側の比較調査

WMSの定着度合いに関して、現場側の63.1%が「導入し全ての機能ではないが使っている」と回答し、経営者側に比べて23.9ポイント増加しています。

## Q5

Q4で「導入し全ての機能を使いこなしている」「わからない/答えられない」以外を回答した方にお聞きします。WMS（倉庫管理システム）で今以上の機能を活用することが難しいと思う理由を教えてください。（複数回答）



調査期間：2024年3月11日～同年3月22日  
WMSの活用に関する現場側/経営者側の比較調査

**WMS活用の課題、現場側・経営者側ともに  
「使いこなすのに時間がかかる」が最多となりました。**

## Q6

Q5で「わからない/答えられない」以外を回答した方にお聞きします。  
Q5で回答した以外に、WMS（倉庫管理システム）で今以上の機能を  
活用することが難しいと思う理由があれば、自由に教えてください。（自由回答）

<現場担当者（n=39）自由回答・一部抜粋>

38歳：バグが発生する。

49歳：コスト。

59歳：AGVとの連携が難しい。

53歳：すべての作業員が同じように使いこなすのが難しい。

44歳：即入力してもらえれば良いのだがまとめて後で処理されると  
リアルタイムの差がうまれてしまう。

<経営者・役員・倉庫現場責任者（2022年）（n=45）自由回答・一部抜粋>

58歳：管理者が複数いるため、確認が煩雑となっている。

61歳：倉庫によって、導入されているシステムのレベルに差がある。

48歳：何かしらのズレがある。

30歳：コスト面の都合で活用が進まない。

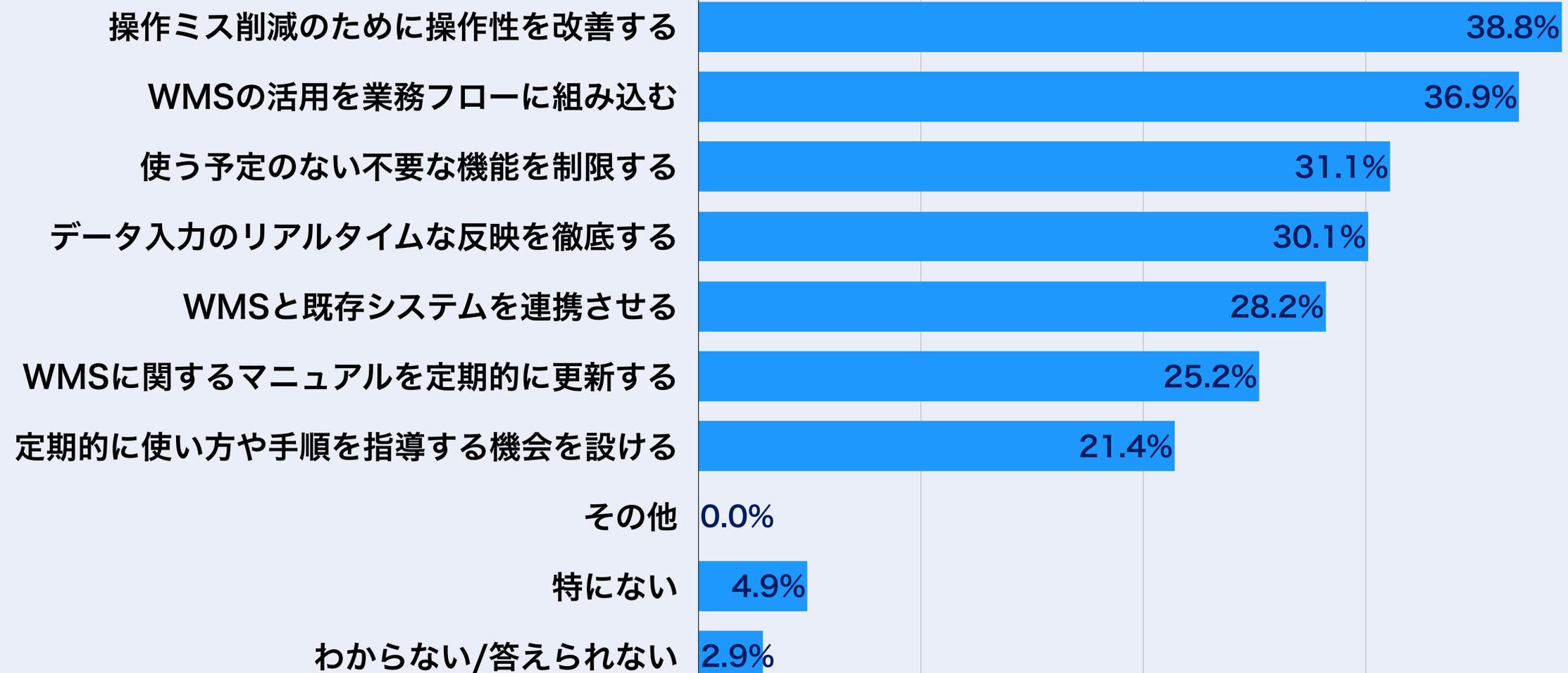
51歳：他のシステムも利用しているから。

52歳：システムの違う入力もあり二度手間。

現場側では、「すべての作業員が同じように使いこなすのが難しい」や「まとめて後で処理されるとリアルタイムとの差がうまれる」などの悩みもあがりました。

Q7

現場担当者にお聞きします。あなたが、WMS（倉庫管理システム）を定着させていくために今後行うべきだと思う施策を教えてください。  
（上位3つまで回答）



n=103、調査期間：2024年3月11日～同年3月22日  
WMSの活用に関する現場側/経営者側の比較調査

WMS定着のために行うべき施策は、「操作ミス削減のために操作性を改善する」「WMSの活用を業務フローに組み込む」などが上位になりました。

## Q8

現場担当者のうち、Q7で「特にない」「わからない/答えられない」以外を回答した方にお聞きします。Q7で回答した以外に、WMS（倉庫管理システム）を定着させていくために今後行うべきだと思う施策があれば、自由に教えてください。（自由回答）

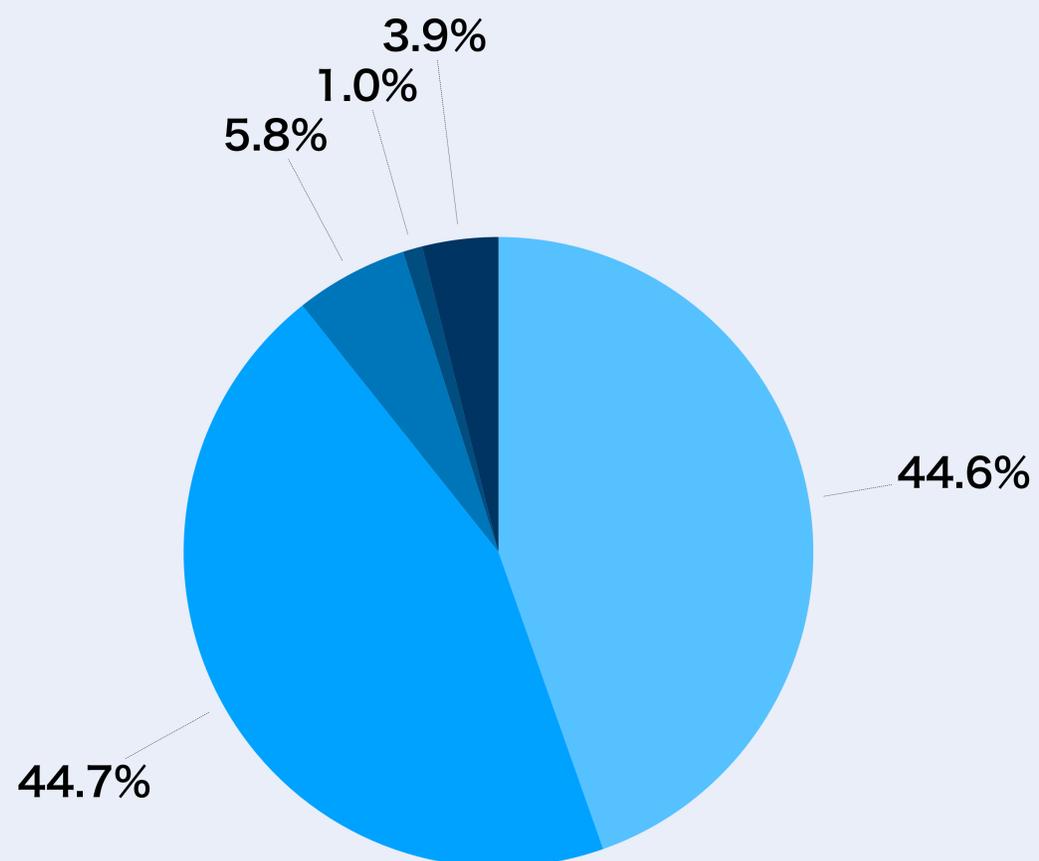
<自由回答・一部抜粋>

- ・ 38歳：人材育成。
- ・ 32歳：機能の一覧化をして誰もが使い勝手がよいシステムにしていく必要がある。
- ・ 40歳：zoomなどのミーティングを頻繁に行う。
- ・ 49歳：全社での一元的な導入。
- ・ 52歳：上位側基幹システムとの連携深度を追求する必要がある。
- ・ 48歳：新たなシステム導入。
- ・ 46歳：汎用性を持たせる。

「全社での一元的な導入」や  
「汎用性を持たせる」などの施策もあがりました。

## Q9

現場担当者にお聞きします。あなたは、今後もWMS（倉庫管理システム）を活用して倉庫業務を行っていききたいと思いますか。



- 44.6% 非常にそう思う
- 44.7% ややそう思う
- 5.8% あまりそう思わない
- 1.0% 全くそう思わない
- 3.9% わからない/答えられない

現場側の約9割が、  
今後のWMS活用に意欲的だ  
ということがわかりました。

# ダイアログとは

---

2013年11月創業。株式会社ダイアログ（東京都品川区、代表者: 方志嘉孝）は物流×ITをテーマに、物流領域のイノベーションを実現するソリューションを提供する物流領域のプロフェッショナル集団。

主力ソリューションであるSaaSクラウド型WMS「W3 mimosa」、カスタマイズ型WMS「W3 sirius」を中心に、ロジスティクス分野に対して戦略企画、業務改革コンサルティング、WMSやシステム開発等によるDX化から機器・資材・人材・倉庫業務までを支援するロジスティクス総合支援カンパニー。

また、WMS以外にもリバーズ物流活用サービス「SMARI」を企画・開発し、2022年12月時点でローソン店舗を中心に約3000箇所への導入を実施している。

<https://www.dialog-inc.com/>

## お問い合わせ

企業名

株式会社ダイアログ

MAIL

[marketing@dialog-inc.com](mailto:marketing@dialog-inc.com)

WEB

<https://www.dialog-inc.com/>

会社住所

〒141 - 0031

東京都品川区西五反田2-12-3

第一誠実ビル8F